

千里山地区乗合交通に係る住民説明会

日 時：2020年11月10日（火） 19：00～20：30

場 所：千里山コミュニティセンター 多目的ホール

1. 開会

<主催者あいさつ>

<出席者紹介，資料確認>

<事務局 資料説明>

2. 質疑応答

質 問：なぜ時刻表が出せないのですか。

時刻表がついてないと利用のイメージがつかめないので、住民説明会には必要ではないのですか。以前の案はホームページから見るすることができます。案としてでもいいので提示してほしい。

回 答：ホームページをみられた方はご存じかもしれませんが、一度、案として出させていただいています。今回、No13の千里山駅の停留所については、阪急バスの停留所を共有することになっています。停留所を共有する中で、バスの時間設定等で詰め切れていないところがあり、現時点では、時刻表案を出せていない状況です。

質 問：理由はわかりませんが、イメージがつかみにくいので、仮の案でもいいので出してほしい。

回 答：今回のルートであれば、1周を60分で回るので、基本的には同じバス停に同じ分、9時5分に停まったら、次は10時5分に停まります。このようなダイヤをパターンダイヤといいます。そのようなダイヤを考えており、詳細な時刻表を出せていないで申し訳ないが、そこからイメージをしていただければ大変助かります。

質 問：千里山西の方のルートで決まっていて、今後もルートを広げる余地がないのですか。

私は、千里山東の方に住んでいるが、東の方にもこういうのを伸ばしてほしい。

高齢者の足ということや病院の通院など、今後を考えるとバスをたくさん利用していきたいと思っています。家の近くにバス停があれば利用したいという方はたくさんいます。

南千里から南へおりて行く広い道があるが、そこを過ぎてスギ薬局の横付近の道をおりて、千里小学校の方へ行く広い道があると思うが、そこを歩いてほしいと以前の実証実験のアンケートで書きました。

千里丘のすいすいバスでは、乗らなかつたら廃止ということですが、乗らなかつたら廃止ということではなく、誰でも乗れて、近くに停留所があり、色んな所へ行ける、高齢者が出かけやすいものを東の方にも作ってほしい。

運賃について、200円は高い。無料にして、市の方から出資してもらえれば、高齢者も外に出ていきやすいので、引きこもらず、高齢者の足の確保にもなります。西側が先にできるが、東の方も是非ルートを考えていただきたい。

回 答：ご意見は承りました。

今回西側のルートが先になっていますが、東側についてもルートを検討していました。

（画面の地図をさしながら）例えば、一つは都市計画道路を阪急バスが運行しているルートがあります。千里山佐井寺図書館を北にあがっていく道がメインであると思いき、我々の方も通れたらいいと思っていました。図中に○で囲っている箇所と写真がいくつかありますが、そこが車道幅員で4.66mを確保できない箇所です。車道幅員が4.1から4.4mで少し

狭く、通れません。我々としても大変心苦しいのですが、道路の現状と千里山駅から一定のバス（阪急バス）が出ているということ踏まえ、千里山の西側を先に進めているという状況です。

千里山乗合交通について住民説明会をさせていただき、「ルートやバス停はこうです」といきなり説明をし、利用しないと廃止ですというのは横柄などところもあると思いますが、まずは試験運行をさせていただきたいというのが我々の思いとしてあります。

資料説明の最後にも申しましたが、必要に応じて運行計画を改善していくこととしており、試験運行で改善を行い、色々な意見全てを取り入れることは難しいかもしれないが、皆さんに乗って頂ける計画になればと思っています。

運賃について、率直にいうと無料にするのは難しいです。ほとんど吹田市域は駅勢圏、バス停勢圏で埋まっています。すいすいバスでは200円や阪急バス等でも距離制で料金を取っている。その中でこの千里山地域は坂がきつく、バスもないということから、バスの導入検討を行った結果、導入に向けて進めているので、平等な行政サービスという点から200円が妥当と考えています。

質 問：無料にはならないとのことですが、運行してすぐに無料とはならないと思うが、ゆくゆくは高齢者も増えてくるし、千里山東にはたくさん建物が建ち、人口も増えています。移動に関して、若い方はいいが、年を取った人が移動に利用することを考えると、収入の少ない高齢者には200円は大変であるので、考えていただきたい。

例えば、高層マンションのエレベーターは、料金を取らないし、誰でも乗れます。高層を横に倒したのがバスの移動だと思って、誰でも乗れるようにしてほしい。

質 問：千里地区が対象ではあるが、他の地区のことをいうのも何ですが、道路の幅に緑色などを付けている図があるが、春日地区の方は、真っ白で色が全然ついていない。春日地区の方こそ、駅から遠いし、こういう公共交通がほしいと思っています。道路を調べたのなら、色を付けて、道が狭くて通れないのなら、それが分かるように色を付けたものを作っていただきたい。

大きな道で行くと南北の道が大きいので、1時間で一回りしたほうが定時で発着できるのでいいのはわかります。でも地域に入り込む余裕がない。地域のなかの道は緑色になっていて一部赤色もあるが、通れないこともあるので、今想定されている自動車の幅がどうしても無理なのだろうと思いますが、今後スリムなバスが出てきたら、地域の中に入っている運行も考えていただきたい。

一見広そうに見えても通れない道については、歩道がないからということも聞いています。それならば、歩道をつくることも考えていただきたい。

回 答：春日地区について、図がわかりにくく申し訳ないが、春日地区への入り口となる部分は限られています。その地区に入る道が狭いため、入れないという状況であったため、地区内の道路については色付けをしていない状態です。

質 問：すいすいバスでは、阪急バスとの乗り継ぎの際には、特別料金（大人350円、子ども・身体障がい者180円）となっている。今回計画されているバスについても、阪急バスとの乗り継ぎには乗り継ぎ料金が適応される予定ですか。

このルートであれば南千里駅、千里山駅、緑地公園駅に阪急バスの停留所がある。阪急バスとの乗り継ぎについても考慮されていますか。阪急バスと乗り継ぐことによって、例えば千里山西に住んでいる方がJR吹田駅の方に行ったり、豊中市のホームページを見ていると、曾根や伊丹のイオンモールの方への路線バスを検討しているようです。阪急バスとの乗り継ぎができるようになれば、行動範囲が広がるのではないかと思います。阪急バ

スとの乗り継ぎや運賃について考慮していただければと思います。

回 答：千里丘のすいすいバスについては、阪急バスと協定を結んでいます。事業主体は吹田市ですが、運行は阪急バスが行っています。言われた乗り継ぎ割引も阪急バスがやっているからこそ、できるサービスです。

今回の千里山地区のバスを運行する事業者はこれから公募をかけて決めていくこととなります。公募のかけ方として、例えば、安全に運行できるであるとか、サービスについて等、提案をいただいて総合的に考えていこうと思っています。公募で決まった運行事業者とサービスについては協議していくということになると思います。

豊中市のバス路線については、検討があるということは承知しています。それらも含めて接続等はこれからの協議になると思います。

質 問：試験運行について、計画では、令和3年度の後半ということで、年度の後半というと3月末である。最初は12月と言っていたが、最近聞くと2月になると聞いた。12月も2月も年度の後半に変わりはないが、実際はどうか。

試行運行の期間について、開始の時期によって、想定されている期間が試行運転の開始が遅れることで、その期間が短くなるのか、延長されるのかどうかお聞きしたい。

回 答：スケジュールについて、地域公共交通会議では12月とさせていただいていましたが、今のコロナ禍の中でスケジュールが少し後ろ倒しになっています。12月が2月になるのか3月になるのかははっきりと申し上げられないが、少し後ろになると思っています。

試験運行については、2年間を考えています。試行運行の時期がずれたからといって、試行運行期間の2年に影響はありません。

質 問：説明されたルートとバス停の位置の案で試験運行をされると思いますが、試験運行の中で、例えば、バス停でこの位置より、あそこの位置の方がいい等の意見があった場合は、試験運行が終わって本格運行になるまでの間に変更されたりすることがあると考えてもいいのですか。

回 答：試験運行中等に意見があった場合は、地域公共交通会議の中で要望について議題に挙げて、変更が認められたら変更はあります。

質 問：幅員について説明されているが、すいすいバスは29名で車両がどのくらいかわからないが、北摂地区でこのような公共交通を走らせているところで、運行車両がもっと小型なバスでの運行があるのか、ないのか教えてほしい。

回 答：実証実験時で分かった乗車人数があり、その人数を乗せることと、どんな方でも乗っていただくことを考え、バリアフリー対応のノンステップタイプを考えると、資料に乗せている日野ポンチョのショートタイプだけになります。

質 問：バス停の間の距離の説明では300から500mということであったと思いますが、駅から次の停留所までかなりの距離があります。以前にも乗せてもらいましたが、千里山神社の停留所まで停留所がなく、次の江坂5丁目までの間にも停留所がない。その区間で何か処理ができないのか、できるのか、あるいはコース変更に結びつくのか、このあたりどう考えていますか。

回 答：バス停間が長いということですが、例えば、No14千里山神社からNo15の江坂5丁目の区間のスパンは長くなっています。今日に至る過程の中で、豊中市域にある千里山病院があり、その病院の近くにバス停を考えていました。病院内へも検討しましたが叶わず、道路上も検討しましたが、警察と協議した結果、交差点から近いことで設置が難しいとの結果を受け、現在のルートとなっています。バス停間が長いということは、市の方も認識しています。今後試験運行をする中で、地域公共交通会議の課題案件とさせていただければと思っ

ています。

質 問：今の話と関係することですが、千里山駅から緑地公園駅へ行きたいということになった場合、よく利用するケースと思うが、一度祝橋を回って新御堂に入ってからしか緑地公園へのバス停がない。現実に千里山病院のところから駅前に入って、そこでUターンができない理由を以前に聞いたことがあるが、バスはUターンができなければバスが入ることは無理なのか。緑地公園駅の東側にロータリーでもあればいいが、今の状態であれば歩いた方が早いということになってしまうのではないですか。検討されたと思うが考えをお聞きしたい。

回 答：ぐるっと回るということですが、千里山駅から青のラインでいった場合、祝橋からNo.10の緑地公園駅西は青でも赤でも停まる。南千里駅までぐるっと回ることはないが、そういう意味ではなくということですか。千里山病院のところから駅の方へ入れないかということですか。

質 問：千里山病院のところから駅の方へという意味です。

回 答：千里山病院のところから入ると、（図を示しながら）ここを折り返さないといけないが緑色で車道幅員が足らず、入ったら戻れない箇所になっています。

質 問：切り返しはできないのか。

回 答：バスは切り返し、バックができない。省令（旅客自動車運送事業運輸規則）に記載されています。

質 問：住民説明会での記録は取っていて、地域公共交通会議の方に出してもらえるのですか。

回 答：記録は取っており、会議の方にも出します。

4. 閉会

-略-